

フットブレーキ検出方式への変更(V-10のみ)

シフト検出方式の変更方法です。リモコン操作によるエンジン始動後、シフトレバーをPレンジからRレンジへと動かしてもエンジンが停止しない場合に変更します。

- ステップ1** 本体のMODE2スイッチメニューの1「EGS/パワースイッチ」をOFFにします。

すでに付属の安全センサーケーブルが、エンジンスタータユニットに接続されている場合は、一旦外してから作業を行ってください。

- ステップ2** 車のフットブレーキスイッチを探します。

フットブレーキスイッチは、ブレーキペダルの根元付近にあります。

メモ フットブレーキとは、フット式パーキングブレーキのことではありません。

- ステップ3** ブレーキペダルを踏んだときに12Vを示すコードを探します。

注意 必ずテスターを使用してください。

フットブレーキスイッチから出ているコードの内、ブレーキペダルを踏まないときにOV、踏んだときに12Vを示すコードをテスターで探してください。

- ステップ4** 安全センサーケーブルの白コードを接続します。

△注意 エレクトロタップで配線する際は、エレクトロタップのカバーを確実にロックしてください。エレクトロタップの金属部分が車体の金属部分に接触するとショートし、火災・故障の原因となります。テーピングすることをお奨めします。

安全センサーケーブルの白コードをステップ3で探したコードに付属のエレクトロタップ(赤色)で接続します。

- ステップ5** エンジンスタータユニットへ接続します。

エンジンスタータユニットの安全センサーケーブル差込口(CN2)へ安全センサーケーブルのコネクターを差し込みます。

- ステップ6** エンジンスタータユニットのMODEスイッチメニューの1「シフト検出」をONにします。

- ステップ7** 本体のMODE2スイッチメニューの1「EGS/パワースイッチ」をONにします。

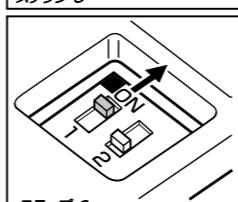
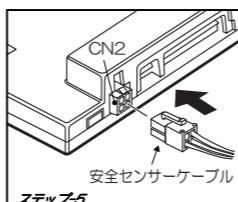
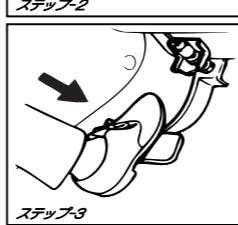
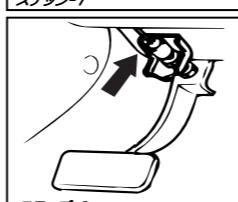
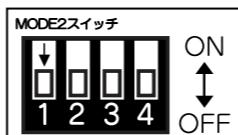
- ステップ8** リモコンで始動したエンジンが、フットブレーキを踏んだときに停止するか確認します。

- ①車に乗り、リモコンでエンジンを始動してください。
- ②フットブレーキを踏んだときに、エンジンが停止することを確認してください。

- ステップ9** 配線したハーネス類を整理します。

| | |
|------------|--|
| △警告 | ・ハーネス類等は、ステアリングシャフトやペダル類の可動部付近には固定しないでください。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。 |
| △注意 | ・配線したハーネス類は、ビニールテープや結束バンド等で確実に固定してください。また車のカバーや内張り等で配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、火災・故障の原因となります。 |
| △注意 | ・接続していない端子部は、ビニールテープ等で絶縁処理してください。ショートし、火災・故障の原因となります。 |

これまでに配線したハーネス類をビニールテープや付属の結束バンド等を使用して、確実に固定してください。



L端子検出方式への変更(V-10のみ)

始動検出方式の変更方法です。エンジンがかかっているのに止まってしまう場合やエンジンがかかっていないのにメーターパネルが点灯したままになてしまう場合に変更します。

- ステップ1** 本体のMODE2スイッチメニューの1「EGS/パワースイッチ」をOFFにします。

すでに付属の安全センサーケーブルが、エンジンスタータユニットに接続されている場合は、一旦外してから作業を行ってください。

- ステップ2** 車のオルタネータから出ているL端子コードを探します。

注意 必ずテスターを使用してください。

オルタネーターから出ているコードの内、イグニッションONの位置でエンジンが停止しているときに約1~3V、エンジンが駆動しているときに約12~14Vを示すコードをテスターで探してください。

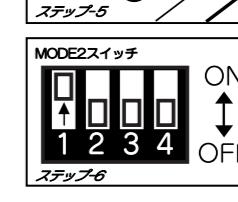
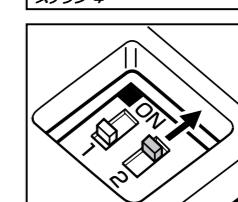
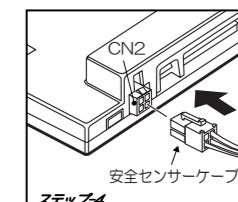
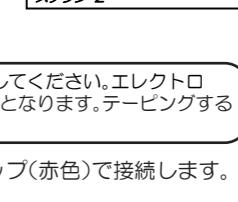
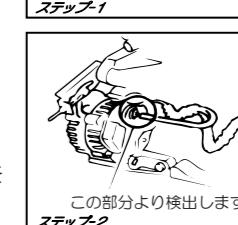
- ステップ3** 安全センサーケーブルの灰コードを接続します。

△注意 エレクトロタップで配線する際は、エレクトロタップのカバーを確実にロックしてください。エレクトロタップの金属部分が車体の金属部分に接触するとショートし、火災・故障の原因となります。テーピングすることをお奨めします。

安全センサーケーブルの灰コードをステップ2で探したコードに付属のエレクトロタップ(赤色)で接続します。

- ステップ4** エンジンスタータユニットへ接続します。

エンジンスタータユニットの安全センサーケーブル差込口(CN2)へ安全センサーケーブルのコネクターを差し込みます。



- ステップ6** 本体のMODE2スイッチメニューの2「始動検出」をONにします。

- ステップ7** リモコンでエンジンを始動し、エンジンがかかるか確認します。

- ステップ8** 配線したハーネス類を整理します。

| | |
|------------|--|
| △警告 | ・ハーネス類等は、ステアリングシャフトやペダル類の可動部付近には固定しないでください。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。 |
| △注意 | ・配線したハーネス類は、ビニールテープや結束バンド等で確実に固定してください。また車のカバーや内張り等で配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、火災・故障の原因となります。 |

| | |
|------------|---|
| △注意 | ・接続していない端子部は、ビニールテープ等で絶縁処理してください。ショートし、火災・故障の原因となります。 |
|------------|---|

これまでに配線したハーネス類をビニールテープや付属の結束バンド等を使用して、確実に固定してください。